

# 私たちのまちづくり計画

ダイヤランドまちづくり連絡協議会

## 1、「ダイヤランド、まちづくり連絡協議会」

協議会名	「ダイヤランドまちづくり連絡協議会」
事務局	「ダイヤランド・小ヶ倉ふれあいセンター」 ・長崎市ダイヤランド4-1-1 ・電話(095)-879-4609
代表者	会長 中野 敦之
協議会の発足	平成15年5月27日
協議会の区域	ダイヤランド地区(1丁目~4丁目の範囲)
会員数	・4,972人 ・2,162世帯 (平成29年12月末日現在)

## 2、協議会発足までの経緯

地域の状況	1984年、大型団地として造成開発された「南長崎ダイヤランド」インフラも完備し住みやすい町として短期間に多方面からの転入者で町は活気にあふれたが、しかし団地故の宿命である「人間関係の希薄」「連帯感の欠如」等々は「ベッドタウン」の様相を呈してきた。人口もピーク時には6,000人を超える状況であったが、少子高齢化の社会現象の波はこの街にも押し寄せ、現在では高齢者の増加と子どもの数の激減が顕著で、新たな街づくりの問題として浮上してきた。
まちづくりへの住民の声	「ベッドタウン化」「価値観の多様化」「組織からの逃避」等々の現象がある中で、町のあり方等についての住民の総意を把握することは非常に困難であるが、これまでに2回にわたり50人~100人の住民による「ダイヤランドの町」を語る催事でのワークショップや意見交換等から「まちづくり」の方向をうかがい知ることができたし、また、これまで60回に及ぶ各団体等の代表者による協議会で住民の意見や要望等を把握することができた。更に最新の住民の意見を聞く「ダイヤランド未来会議」には住民73名が参加して、「まちづくり」について学習したり、ワークショップで意見等を出し合う中で貴重なご意見や感想をいただいたが、その意見の多くは現在の「まちづくり活動」の継続への激励やご示唆がほとんどで、これからのまちづくり活動への心強い応援であると捉えることができた。

## 3、連絡協議会の発足と目指す町づくり

連絡協議会の発足	全国的に(長崎県でも)子供に関する悲惨な事件が多発し、多くの住民の声が高まる中、1年間の準備期間を経て平成15年、「連合自治会」の主導のもと「育成協」「民生児童委員会」の賛同を得て「ダイヤランドまちづくり連絡協議会」が発足した。その後、大浦警察署の指導と支援をいただきながら紆余曲折の経過をたどりながら、「防犯団体」としての進む方向やあり方が焦点化されてきた。
目指す町の姿	現在は年4回の協議会や役員会等で検討を加えながら創り上げた「町の姿」を次のようにまとめている。 ◎ 協議会が目指す町の姿・・・「安全で安心して暮らせる町」

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より具現化された町の姿</li> <li>(1) 人々が心を通わせ、温かくふれあえる町</li> <li>(2) 犯罪のない、災害に強い、静かできれいな町</li> <li>(3) 人々が情報を共有し 強い絆で結ばれた町</li> </ul>
活動推進の基本的事項	<p>活動を進めていく上で基本的に押さえている事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 個人は <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) まちづくり活動の主役は住民ひとり一人である。</li> <li>(2) 「できることを」「できるときに」「できるだけでいい」</li> <li>(3) ひとりの活動を次の一人へ、更なる一人へ広げ、つなげる核である。</li> </ul> </li> <li>◎ 諸団体等では <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 活動を進める中で「まちづくり」の趣旨を付加する。</li> <li>(2) 各団体等の活動の広報・啓発を活発化し多くの参加者を期す。</li> <li>(3) 活動での効果、課題等については協議会で発信する。</li> </ul> </li> <li>◎ 全体（協議会主催）では <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 代表者は委員会での協議事項を所属員に伝達・報告をする。</li> <li>(2) 所属する「部」の委員として事業の企画・運営を行う。</li> </ul> </li> </ul>

#### 4、協議会の組織

協議会の組織 (組織図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 協議会を組織する団体等 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1自治会 ○ 第2自治会 ○ 第3自治会 ○ 第4自治会 ○ アパート自治会 ○ 熟年会 ○ 第2熟年会 ○ 白寿会 ○ ときわ会 ○ 親和会 ○ 大樹会 ○ 南長崎小学校 ○ 小ヶ倉中学校 ○ 青い鳥幼稚園 ○ ダイヤランド保育園 ○ 南長崎小学校育友会 ○ 小ヶ倉中学校育友会 ○ 子供を守るネットワーク ○ 青少年育成協議会 ○ 社会福祉協議会支部 ○ ふれあいセンター ○ ダイヤランド郵便局 ○ 長崎市少年補導委員 ○ 県警少年補導員 ○ 学童保育ほしのこらんど ○ 崎望館 ○ オレンジの丘 ○ 各自治会子供会 ○ 長崎市スポーツ推進委員 ○ 保護司 ○ ダイヤランド青パト隊 ○ 長崎市 ○ 交通指導員 ○ 包括支援センター</li> </ul> </li> <li>(2) 役職等 <p>住民の代表委員及び協議会委嘱委員の中から規約により役員（会長・副会長・会計・事務局長）を選出。</p> </li> <li>(3) 役員を含む委員を4部会（安全安心部・交流ふれあい部・環境整備部・広報啓発部）に配置し各部では互選により部長・副部長を選出する。</li> <li>(4) 地域の中から4名の顧問を委嘱する。</li> <li>(5) 委員の中から2名の監査を委嘱する。</li> <li>(6) 若干の事務局員を選出する（委員以外からの委嘱）</li> <li>(7) 次の2団体は協議会とは別に独立した活動団体として位置づける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 青パト隊連絡会 ○ 老人クラブ交流会</li> <li>○ 子供を守るネットワーク・・・これは当協議会の直接的な組織ではないが、ネットワークの組織等から当協議会の趣旨に合致すること</li> </ul> </li> </ul>
-----------------	--

から、ネットワークのメンバーは協議会のメンバーを充てることにしている。

(8) 会 議

○役員会（会長・副会長・会計・事務局長）・・・必要により各部長も参加  
\*必要により開催

○監査会（監査・会計・会長）  
\*年に1回実施

○各部会（各部委員及び担当副会長・必要により会長・会計・事務局長）  
\*必要により部長が招集

○事務局会（事務局長・事務局員・・・必要により会長・会計も参加  
\*必要により実施

○委員会（委員及び事務局員・顧問・小ヶ倉交番・必要により市関係課）  
\*定例会・・・年に4回実施（緊急の会あり）

○その他・・・青パト隊連絡会議（青パト担当者・必要により会計）  
\*青パト・年2回（2月・6月） \*交流会（会長が招集）

5、協議会の活動

活 動 概 要  
(活動概要図)

(1) 5部会が活動の企画・実践・啓発などの先導的な役割を果たしていく。

・各部では協議会主催の主行事の一つを主管する。

・住民の日常活動については情報収集や啓発に努める

○ 防災活動・・・主活動「防災体験広場」・「災害に備える」等々

・・・日常活動 「夜間パトロール」「火の用心運動」等

○ 防犯活動・・・主活動「地域防犯パレード」

・・・日常活動 「家や車のカギかけ」「子どもの見守り」等

○ 交流活動・・・主活動「ふれあいウォーキング」

・・・日常活動 「あいさつ運動、ふれあいコンサート、等

○ 整美活動・・・主活動「まちなか花いっぱい運動」等

・・・日常活動 「一斉清掃」「講演の美化点検」等

○ 広報活動・・・主活動「まちづくり通信」

・・・日常活動 「各種チラシの作成」「行事予定表」等

● 研修活動・・・役員、一般住民を対象とした「地域のまちづくり」の研修（専門家の講話受講、先進地の研修訪問、リーダー研修、防犯・防災に関する研修）等の機会や場を作り、協議会継続のためのリーダー養成にもつなげたい。

(2) 活動の機会と場

○主活動は協議会主催の事業であるので、それぞれの主管部が中心になって多くの住民参加により開催する。

○日常活動は住民の日常における活動であり、各部では活動への場づくりや啓発を進めていく。

	<p>(3) 委員会の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通常、年に4回の「協議会委員会」を開催。この会は活動に関する報告や成果、問題点等を出し合い情報交換をする。</li> <li>○ 協議会が主管する行事等の計画等について各部から発表する。委員は各所属員へ伝達、啓発する。</li> <li>○ その他の協議会活動全般についての意見交換及び住民の意見等を聴取する。</li> <li>○ 地元の交番から防犯の実態等について説明を受けたり防犯についての指導を受ける。</li> <li>○ 必要により各種の機関等の参加を促す。</li> <li>○ 年度当初は総会的内容の運営を入れる。</li> </ul>
<p>その他の活動</p>	<p>(1) 独立した活動組織</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「青パト隊連絡会」・・・一般住民からの応募者により青パト活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各自の指定した日に活動。</li> <li>・ 指定日は各自の自己申告。</li> <li>・ 隊員・39名（運転者 23名・同乗者16名） ※平成29年度</li> <li>・ 活動・年間概ね260日</li> </ul> </li> <li>○ 「ダイヤモンド老人クラブ交流会」・・・団地内の6老人クラブで組織。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人クラブ会員の交流を主とし、まちづくり活動に自主的に参加。</li> <li>（老人クラブ交流会・・・会員の交流ふれあいの会・年1回開催）</li> <li>（高齢者の学習会・・・特殊詐欺被害防止・交通事故防止・他）</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 年間予定表の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議会を組織する団体等の「年間行事予定表」を作成して町の行事等で活用。</li> </ul>

## 6、課 題

<p>次世代への繋ぎ</p>	<p>(1) これまで協議会を牽引してきた現在のリーダーも高齢化。この後のまちづくり活動を引き継ぐ新しいリーダーの養成は急務。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次年度の活動として、人材の発掘を含めてその方策を考えていく。</li> </ul> <p>(2) ここで生まれ育った子供たちは、まさに地域の宝である。この町はこの子どもたちの「ふるさと」であり、この町に住みこの町を作っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校と協議会の連携強化を図り、学校と関係機関(育友会・育成協・子どもを守るネットワーク・子供会・学童保育等・・・)との協議を重ねながら具体的な行動(集会・行事等)を進める。</li> <li>○ 現在の「まちづくり活動」に子供たちの参加を促す方策を考える。</li> </ul>
----------------	---

作成 平成30年3月

ダイヤモンドまちづくり連絡協議会事務局